

(様式 2)

受付番号	
------	--

## 令和 4 年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (自動運転実証調査事業) 補助事業者 提案書

【記入にあたっての留意点】

- 様式 2 の作成形式は、本雛型の通りとして下さい。別の形式 (PowerPoint での作成や、下記設定項目に従わないもの) は認められませんのでご注意下さい。
- ※にて記載のディレクションは削除の上、提出して下さい。
- 同様に、表内の例示は削除の上、提出して下さい。
- フォントは原則 MS ゴシック、11 ポイント以上としますが、図表中の文字等についてはこれに限られません。
- 枚数・文字数に制限は設けておりませんが、各項目においてディレクションに従い、要点を簡潔に記載して下さい。
- 各項目は、必要に応じて記入枠の大きさの調整や行の追加を行って下さい。

1. 提案内容	
1-1. 事業実施の背景・目的・目標	
事業実施の背景	※本事業を通じて、解決を目指す地域課題並びにその課題を設定した背景について簡潔に記載して下さい。 ※データ等を引用する場合は、出典を明記して下さい(以降の設問でも同様)。
事業実施の目的	※本事業の実施により、どのような個人・組織・社会等の変容を目指すのか、実証の目的について簡潔に記載して下さい。
事業実施における目標	※本事業で設定した課題の解決や実証の目的の達成に向け、どのような事業目標を設定するのか、定性的、定量的に記載して下さい。

<p>最終目標・ 構想イメージ</p>	<p>※本事業にて想定する成果も踏まえて、最終的に達成を目指す目標、構想のイメージについて記載して下さい。(地域促進や健康促進等、移動以外の効果も視野に入れている場合は詳細をご説明下さい)</p> <p>※地域公共交通計画を定めている場合、その遂行に向けて自動運転がどのように活用される見込みか記載下さい。</p> <p>※その他自治体が定める各種計画において自動運転を位置付けている場合は参考資料を提示して下さい。</p>
<p>施策間連携</p>	<p>※中山間地域等を含む地域であり、農林水産分野と連携し、自動運転技術を活用して地域を活性化させていく取り組みを推進予定の場合は、取り組み内容について記載して下さい。(本事業の公募に合わせて「デジ活」中山間地域に係るチェックシートを提出予定の補助事業者のみ記載して下さい。)</p> <p>※既に「デジ活」中山間地域に登録されている場合は、登録時に合わせて申請を行った下記事業名(①～⑦)と共に、その取り組み内容を記載して下さい。</p> <p>①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ:小さな拠点):内閣府(地方創生推進事務局)</p> <p>②過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業:総務省(自治行政局)</p> <p>③農村型地域運営組織モデル形成支援:農林水産省(農村振興局)</p> <p>④元気な地域創出モデル支援:農林水産省(農村振興局)</p> <p>⑤デジタル林業戦略拠点構築推進事業:農林水産省(林野庁)</p> <p>⑥デジタル水産業戦略拠点整備推進事業:農林水産省(水産庁)</p> <p>⑦無人航空機等を活用したラストワンマイル配送実証事業:国土交通省(総合政策局)</p> <p>※また、本事業と関連するDX・GXの取組の実施予定について記載して下さい。</p>

1-2. 事業内容

※自動運転車の運行ルートについて、地図等も活用しながら記載して下さい。  
 ※走行距離／走行箇所ごとの実際の自動運転レベルについても地図内に記載して下さい。具体的には、「手動操作」「手動操作の想定無し」「原則、自動運転（必要に応じて手動操作）」等を運行ルート上に記載して下さい。  
 ※運行ルート上に設置するインフラ設備（信号連携、スマートポール等）についても地図内に明記して下さい。

■ リスクアセスメントの方針

※本事業では、リスクアセスメントを通じて、実証実験の運行ルート上の危険箇所や対処法を分析いただきます。（実施内容の詳細は採択後に事務局よりご案内いたします）

運行場所

項目	内容
リスクアセスメントの実施体制	※リスクアセスメントの実施主体(事業者等)を記載して下さい。
現状分析	※実証実験の運行ルートにおける危険箇所と対処法について、現時点で想定する内容を記載して下さい。（車両、オペレーション起因の危険等） ※昨年度事業（令和3年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金）において実証実験を実施した団体は昨年度の検証結果（手動介入や事故の発生箇所/要因）を考慮して記載して下さい。

運行期間

※自動運転車の運行期間と運行日数について記載して下さい。  
 ※準備運行、関係者試乗運行、一般運行等、運行別に記載下さい。

運行内容	運行期間・運行日数
準備運行	●月●日～○月○日（○曜除く） 計○日間
関係者試乗運行	
一般運行等	
その他運行	※その他運行がございましたら、追記下さい。

<p>運行時間帯・頻度</p>	<p>※自動運転車の運行時間帯・頻度について記載して下さい。</p>																		
<p>運行方式</p>	<p>※路線バス・デマンドバス等、運行方式について記載して下さい (複数の運行方式を検討されている場合は列挙)。</p>																		
<p>運行者</p>	<p>※自動運転車の運行事業者について記載して下さい。</p>																		
<p>運行体制・緊急時の体制</p>	<p>※運行体制、緊急時の体制について記載して下さい。</p> <p>■ 運行体制</p> <table border="1" data-bbox="379 1160 1425 2018"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="379 1160 807 1238">項目</th> <th data-bbox="810 1160 1425 1238">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 1243 563 1529" rowspan="2">遠隔監視設備</td> <td data-bbox="566 1243 807 1384">種類・特徴</td> <td data-bbox="810 1243 1425 1384">※遠隔監視に用いられる車載カメラ・通信網・ディスプレイ等を記載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1388 807 1529">機能</td> <td data-bbox="810 1388 1425 1529">※遠隔地から車両に指示できる操作内容、車両から受信するデータを記載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1534 563 2018" rowspan="4">遠隔監視員</td> <td data-bbox="566 1534 807 1653">事業者</td> <td data-bbox="810 1534 1425 1653"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1657 807 1776">人員体制</td> <td data-bbox="810 1657 1425 1776">遠隔監視員の人数：〇〇人 自動運転車両1台当たりの配置人数：〇〇人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1780 807 1899">オペレーション</td> <td data-bbox="810 1780 1425 1899">※業務内容を記載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1904 807 2018">遠隔監視体制</td> <td data-bbox="810 1904 1425 2018">※複数台を1名で遠隔監視する場合、1:Nの比率で遠隔監視体制を記載</td> </tr> </tbody> </table>		項目		内容	遠隔監視設備	種類・特徴	※遠隔監視に用いられる車載カメラ・通信網・ディスプレイ等を記載	機能	※遠隔地から車両に指示できる操作内容、車両から受信するデータを記載	遠隔監視員	事業者		人員体制	遠隔監視員の人数：〇〇人 自動運転車両1台当たりの配置人数：〇〇人	オペレーション	※業務内容を記載	遠隔監視体制	※複数台を1名で遠隔監視する場合、1:Nの比率で遠隔監視体制を記載
項目		内容																	
遠隔監視設備	種類・特徴	※遠隔監視に用いられる車載カメラ・通信網・ディスプレイ等を記載																	
	機能	※遠隔地から車両に指示できる操作内容、車両から受信するデータを記載																	
遠隔監視員	事業者																		
	人員体制	遠隔監視員の人数：〇〇人 自動運転車両1台当たりの配置人数：〇〇人																	
	オペレーション	※業務内容を記載																	
	遠隔監視体制	※複数台を1名で遠隔監視する場合、1:Nの比率で遠隔監視体制を記載																	

運転手	事業者	
	人員体制	運転手の人数：〇〇人 自動運転車両1台当たりの配置人数：〇〇人
	オペレーション	※業務内容を記載
保安員 (※上記以外 で運行の安全 のために配置 する人員)	事業者	
	人員体制	保安員の数：〇〇人 自動運転車両1台当たりの配置人数：〇〇人
	オペレーション	※業務内容を記載

➤ 関連する写真・イメージ等

■緊急時の体制

項目	内容
緊急時対応 スタッフ	※人数・それぞれの役割について記載
緊急時の オペレーション	※緊急時の対応の流れ・外部機関との連携等について記載

➤ 関連する写真・イメージ等

■ 自動運転車両の特徴

※車種が複数ある場合は車種ごとに以下の表を作成して下さい。

自動運転車両  
の特徴

項目		内容		
台数				
所有		※車両の購入有無・所有者 ※新規で車両の調達を検討される場合は理由を記載して下さい		
車両 スペック	車両名	※車両を自動運転用に改造する場合はベースとなる車両について記載下さい		
	自動運転 レベル			
	車両定員			
	試乗枠の定員			
	最高速度	車両機能上限： ※車両性能おける最高速度を記載下さい		
		実証実験時上限： ※実証実験における最高速度を記載下さい		
	センシング デバイス	※センシングデバイスの種類別の個数 (2D・3DLiDAR ミリ波レーダー、物体検知カメラ等)		
その他装備				
走行 可能 環境	天候			
	照度			
保有 機能	自車 操作	左折	走行 可否	※(人的介入を要する場合は否)
		右折	走行 可否	※(人的介入を要する場合は否)
		車線 変更	走行 可否	※(人的介入を要する場合は否)
		障害物 回避	対応 可否	※(人的介入を要する場合は否)
	対象認識			
	白線認識			
	標識認識			
	信号認識			
	MRM※			



【収支構成】

※2023年度の収入について、発生の有無、想定金額を記載して下さい。

※2024年度以降の収入拡大に向けた取組を記載して下さい。

2023年度			2024年度以降		
収支項目		発生 有無	金額 (千円)	収入拡大に向けた取組	
収入	運賃収入		有/無		
	法人利用料		有/無		
	広告収入		有/無		
	視察収入		有/無		
	貨客混載		有/無		
	その他	※列 は自 由追 加	有/無		
	収入計		—		

※2023年度の支出について、初期費用(事業を始める際に必要な支出項目)とランニング費用(事業を継続する際に必要な支出項目)の双方に金額を記載して下さい。

収支項目		金額 (千円)	備考
支出 ※初期費用	車両費	車両購入費	
		車両改造費	
	システム 関連費	自動運転 システム費	
		運行管理 システム費	
	設備 関連費	遠隔監視機材費	
		遠隔監視室設置費	
		インフラ機材費	
	リスク アッセ メント	リスク アセスメント費	
		車両調律費	

	関連費	地図データ作成費		
	労務費	インフラ工事費 (労務費)		
	初期費用計			

収支項目		金額 (千円)	備考
支出 ※ランニング 費用	車両費	車両リース費	
	車両 関連費	燃料費・電気代	
		車両修繕費	
	システム 関連費	自動運転システム 保守費・利用料	
		運行管理システム 保守費・利用料	
		データ通信費・ クラウド利用料	
	設備 関連費	遠隔監視室賃借料	
		インフラ機材 点検・保守費	
	リスク アセスメ ント 関連費	地図データ更新費	
	労務費	運転手 (労務費)	
		保安員 (労務費)	
		遠隔監視員 (労務費)	
	ランニング費用計		

【2024 年度以降の事業費確保/支出削減策】

項目	内容
事業費の確保	<p>※2024 年度以降、本事業の補助金以外の事業費の確保は予定されているかについてご記載下さい。事業費の確保を予定されていない場合は、事業の収支を踏まえ、今後の確保予定について記載して下さい。                      (事業費：移動サービスから得られる収益、他の補助金、自治体側の予算、その他収益等)</p>

※2024 年度以降の支出削減策を記載して下さい。

項目	内容
支出削減策	<p>※自動運転技術向上やオペレーション効率化に伴う、乗務員、遠隔監視員、保険料、異常時における現場対応費(労務費・レッカー費用等)等の削減等、支出削減策について記載して下さい。</p>

<p>技術面における特徴</p>	<p>※乗客と周辺歩行者や車両の安全性を確保することを目的とした、車両や運行サービス、遠隔監視体制等における特徴について記載して下さい。</p> <p>※導入予定のインフラ支援設備と目的について、運行ルート図等を引用しつつ、記載して下さい。</p> <p>※車両技術のみで走行が困難であると考えられる場合、走行環境の構築、維持・管理等で安全性を高める取り組みがある場合は記載して下さい。</p>
<p>社会受容性面における特徴</p>	<p>※実証実験実施前後の認知度/社会受容性を計測する取り組みを予定している場合は、その特徴を記載して下さい。</p> <p>※また、地域住民や関係機関等の自動運転車両に対する走行特性や安全性等の理解を促進させるための施策について記載して下さい。</p> <p>※加えて、地域振興や健康促進等、移動以外の効果を視野に入れている場合は、期待する効果についても記載して下さい。</p>

※本事業における検証項目・実施方法・目標値・目標の設定根拠について記載して下さい。(目標値について、可能な限り定量的に記載して下さい。)

検証項目

検証 テーマ	検証項目 ※実施方法	目標値	目標の設定根拠
経営面	・ (自由記入)  ※実施方法 :	・ (自由記入)	・ (自由記入)
	・	・	・
技術面	・ (自由記入)  ※実施方法 :	・ (自由記入)	・ (自由記入)
	・	・	・
社会受 容性面	・ (自由記入)  ※実施方法 :	・ (自由記入)	・ (自由記入)
		・	・

1-3. 実施体制

実施体制図

※本事業の実施体制図を下記の図を参考に作成して下さい。  
 ※また、調整中の業務委託・外注先、協力団体がある場合は、その旨が分かるように団体・組織名の後に(未確定)と記載して下さい。  
 ※コンソーシアムを組成しない場合には参加団体の図と、補助事業者を囲う図を削除の上、作成して下さい。(コンソーシアムの定義は公募要領に記載)



各団体・組織名・役割

※本事業に参画する各団体・組織の役割を簡潔に記載して下さい。

No.	分類	ステータス	団体・組織名	役割
-	代表団体	確定	●●●	事業全体の企画、進捗管理、成果測定等
①	参加団体	確定	株式会社■	高精度 3DMap の製作支援
②	業務委託・外注先	確定	株式会社△△	自動運転車両の改造
③	業務委託・外注先	確定	〇〇株式会社	自動運転車両の運行
④	協力団体	未確定	A 大学	自動運転に係る知見の提供
⑤	協力団体	確定	〇〇市	実証実験場所の提供

※未確定の団体が存在する場合、事業実施期間中に体制を整備するうえでの計画をご提示下さい。

※本事業に参画する各団体・組織の参画目的を記載して下さい。  
 (「各団体・組織名・役割」とNo.をそろえて記載して下さい。)

No.	分類	団体・組織名	参画目的
①	参加団体	株式会社■■■	実装を見据えた運行に係る知見の獲得
②	業務委託・外注先	株式会社△△	実装を見据えた自動運転車両改造の実施
③	業務委託・外注先	〇〇株式会社	実装を見据えた運行に係る知見の獲得
④	協力団体	A 大学	自動運転に関わる知見の提供
⑤	協力団体	〇〇市	地域価値の向上

各団体・  
組織名・  
参画目的

※申請者が類似事業の実績を有する場合は、事業名、事業概要、実施年度等を簡潔に記載して下さい。

事業実績

## 1-4. 実施スケジュール

※体制構築、実証実験準備、実証実験実施、結果取り纏め等に係るスケジュールについて、下記の図を参考に作成して下さい。

### ■ 実施スケジュール設定の考え方

スケジュール策定に係るポイントについて記載して下さい。

### ■ 実施スケジュール

以下の図を参考としてスケジュールを策定して下さい。

大項目	小項目	23年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月
1. 体制構築	・参加事業者連絡 /キックオフ	→									
	・										
2. 実証実験準備	・車両改造/イン フラ設計等		→								
	・運行ルート策定 等			→							
	・リスクアセスメ ント				→						
	・利用者アンケー ト準備等				→						
	・										
3. 実証実験実施	・自動運転走行実 施/検証							→			
	・										
4. 結果取り纏め	・検証結果の取り 纏め							→			
	・										
5. 成果報告	・報告書作成/報 告会準備								→		
	・										

## 2. 事業の発展性

### 2-1. 補助事業終了後の見通し

※今後の自動運転事業におけるロードマップについて、自動運転レベル、運行方式（オンデマンド・定時定路線等）等の詳細を表に記載して下さい。  
 ※複数の事業モデルの展開を予定している場合は、事業モデル毎にロードマップをご提示下さい。

#### 【ロードマップ】

項目	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
運行台数					
運行 エリア					
運行方式					
自動運転 レベル					
運賃	有償・無償	有償・無償	有償・無償	有償・無償	有償・無償
運転手	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
保安員	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
遠隔 監視員	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
遠隔監視 体制 <sup>※1</sup>	1:N	1:N	1:N	1:N	1:N

\*1：1名の遠隔監視員が監視する自動運転車両数について、その比率を1:Nの形式で記載して下さい。

※上記のロードマップを参考に、将来のレベル4の導入に向けたステップや工夫点についてご説明下さい（車両性能・遠隔監視・走行環境構築等）。

ロードマップ  
・体制

<p>実装時の 運行場所 (運行ルート)</p>	<p>※実装時の運行ルートについて、地図等も活用しながら記載して下さい。</p> <p>※走行距離／走行箇所ごとの実際の自動運転レベルについても地図内に記載して下さい。具体的には、「手動操作」「手動操作の想定無し」「原則、自動運転（必要に応じて手動操作）」等を運行ルート上に記載して下さい。</p> <p>※運行ルート上にインフラ設備（信号連携、スマートポール等）を設置予定の場合は、地図内に明記して下さい。</p> <p>※本事業と実装時の運行ルートが同一の場合は、1-2. 事業内容の運行場所にて記載いただいた内容を再掲して下さい。</p>
<p>情報取扱・ 相互利益</p>	<p>※事業を通じて得られた各種情報の取扱方法についてご記載下さい。 (事業協力者に不利益が生じないよう工夫を計画している場合、詳細をあわせてご記載下さい)</p>

以上